

検討依頼書

尼教幼高第 302 号

令和 3 年 6 月 22 日

尼崎市立幼稚園のあり方検討会 様

尼崎市教育委員会

教育長 白畑 優

尼崎市立幼稚園のあり方検討について（依頼）

就学前教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を育むなど、生きる力を培う大切な教育の場であり、現在、尼崎市においては、市立の幼稚園と保育所、法人の幼稚園と保育園、法人の認定こども園が、お互いの特性を活かしながら就学前教育を進めております。

市立幼稚園では、平成 24 年 8 月に策定した「尼崎市立幼稚園教育振興プログラム」に基づき、遊びを通して学び、後伸びする力を育てる教育内容の提供、特設学級の全園設置や幼稚園・保育園（所）と小学校の滑らかな接続に向けた教員間の連携推進などの教育内容の充実策に取り組んできました。

しかし、尼崎市立幼稚園においては、少子化の影響等により、園児数が定員の 4 割を下回り、複数学級の編成が困難になっており、一方で、特別な支援が必要な子どもの割合については増加している状況にあります。

また、近年における子どもを取り巻く環境の変化により、本市全体の保育ニーズは増加の一途にあり、待機児童の解消は、本市の子育て支援を推進していく中で、喫緊の課題となっております。

こうしたことから、尼崎市立幼稚園教育振興プログラムにおけるこれまでの教育内容の成果と課題等も踏まえながら、将来に向けた市立幼稚園に求められる機能や役割の再整理、教育内容の充実策のほか、少子化を見据えた効果・効率的な運営体制等、市立幼稚園のあり方について、更には、幼保連携による機能整理など広く検討していただきたく、貴検討会に依頼します。

以 上